

認定こども園 カトリック聖園こどもの家

- ◎ 園の教育目標 『自分で考え、判断し、主体的に行動する子ども』
 - ・やさしさと強さをもった子ども
 - ・すべてのことに感謝する子ども
 - ・人を大切にし、思いやりのある子ども
 - ・祈りを通して、平和を愛する子ども
- 今年度の経営の重点
 - ・組織的な研修による保育の質の向上
(「10の姿」のカリキュラムの学びなおし)
 - ・経営参画意識の向上(副主任、保育リーダーに責任を持たせ業務を遂行させる)
 - ・未就園児教室の広報活動の充実化(ホームページの更新、ちらしの掲示など)

【 評価はA、B、C、Dの4段階 】
 (達成率 A:100~75 B:74~50 C:49~25 D:24~)

<達成状況 上:今年度 下:昨年度>

分野	評価項目	自己評価			関係者評価	
		達成状況	評価	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
教育・保育計画の編成と実施内容	園の建学の精神にあるキリスト教の理念を理解し、こども園教育・保育要領に基づき子どもの生活実態に即した計画作成に努めている。	94.0 94.6	A	今年度は職員からのアンケートを基に、外部講師による宗教講話を年3回設定した。キリスト教の理念やお祈りの言葉など、個々の疑問に丁寧に応えていただいたことでより深く理解が深まった。子どもたちの発達段階が違うが行事や日々のお祈りの時間等でキリスト教の理念をわかるように伝えていく。今後も継続して研修に取り組みたい。	A	A
	0歳児から就学前までの園児の発達の連続性を考慮し、生命保持や情緒の安定など養護の行き届いた保育・教育を展開している。	94.8 97.3	A	今年度は、乳児・幼児の担当者が入れ替わって子どもたちの姿を共有し連携・交流する研修を設定でき、0歳から就学前までの6年間の成長の姿を知る機会となった。乳児、幼児双方の保育の専門性を発揮しながら目指すこどもの姿を明らかにしていく。	A	A
	園児一人一人が主体的に活動し自発性や探索意欲を高めるとともに自分への自信を持つことが出来るよう適切に働きかけている。	95.7 97.3	A	日々の保育や行事への取組において、子どもたちの思いを育み、活かす保育に心がけていることによって、保育教諭の意識も高まっていると思われる。さらに職員間の連携をとりながら場の設定を行い、子どもたちの意欲を喚起し達成感を味わえる取組を進めていきたい。	A	A
	乳幼児同士のかかわりの姿を捉え一人一人が安定感を持ち、友だちと思い合ったり協力したり出来るよう働きかけている。	93.9 95.5	A	大きな行事の時だけでなく、普段の生活の中で、異年齢の活動を増やすことで相互により関係となり、目指すこどもの姿に繋がっていくと考える。	A	A
関係者評価委員の意見	・高い評価が2年続いたことは教育目標、重点目標が園全体で共有されている結果であり、高く評価できる。 ・思考が柔軟なうちに「周りの人を思いやる気持ち、感謝する気持ち」が醸成されることはとても大事なことでと思う。 ・カトリックの教えの一端を言動、各種行事等で丁寧に教えていただきありがとうございます。 ・宗教講話の内容をわかりやすく伝えて工夫しているところが良い。親も実際にどのような内容化参観のようなもので内容がわかると親子の会話にもなるのかなと思う。 ・子ども一人一人を尊重し、横や縦のつながりを大切に保育をしていただいていると思う。 ・乳児クラスから幼児クラスに進む過程の中、個人の成長に合わせた取り組みをされていて引き続き行っていけたら良いと思う。					

保育教諭としての資質の向上	キリスト教の教えを学び、乳幼児に伝える指導法を研究したり、日常的に宗教講話や神様の話をしている。	94.0 86.8	A	宗教講話での研修もあって、キリスト教の教えを学ぶ機会があり、子どもたちの前で話をする自信を少し持つことができた職員が増えたと思われる。子どもたちと共に職員も同様に学ぶ姿、心の教育に繋がっていたと思われる。	A	A	
	組織的な研修を行う中で、時代の流れ、求められていることをしっかりと捉え、日常の保育に生かしている。	92.2 88.4	A	乳児・幼児担当者が一堂に会した研修の時間は、保育を優先しているため、時間設定が難しい。今年度の研修内容については、実技的なものが多かったが、短期、中長期で取り組む課題や保育で必要とされている課題を明確にし、組織的、計画的に取り組んでいきたい。	A	A	
	資質の向上を図るため、主体的、計画的に研修会や研究会に参加し終了後は研修報告を提出し還流を行っている。	93.9 91.2	A	個々のスキルアップにつながる研修会への参加は積極的に行われ、報告書の提出もしっかり行われている。自園で活かす視点や研修の成果を日常の保育に活かすために、終礼の時間を活用して報告し共有するなど成果を活かす取組が今後の課題である。	A	A	
関係者評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 全体で共有することによってスタッフ全員が理解し、全体の成長につながっていると思う。 園内外での研修に取り組み、個々のスキルアップから全体の保育向上に努めていると思う。 前年度と「A」評価は変わっていないが、達成状況の点数は各項目揃う大幅に上昇しており、個々の研修、研究が進んでいると先生たちが実感している結果ではないかと思う。 一堂に会する報告・共有は物理的に難しいことが多いと思うが、グループ単位での報告・共有を進める努力を期待します。 いつも思うことですが、質の高い保育には先生方の安定したメンタルが重要で園として確実に取り組まれていると思います。 						
こどもの安全と健康を守る方策	危機管理に関するマニュアルが整備され、適切な環境の維持に努めるとともに施設内外の設備、用具等衛生管理に努めている。	95.1 94.2	A	危機管理マニュアルの更新やヒアリング等、事案が発生した時に見直しと改訂が行われている。安全点検についても毎月担当者が交代して行い、報告がされている。保育室の衛生に関わって、点検、清掃等をさらに徹底するような声もあった。	A	A	
	事故の発生に備え、自然災害や不審者侵入に対する訓練を行い、事後反省点を洗い出し改善を図っている。	97.5 95.1	A	毎月の避難訓練では、毎回、設定や内容を変えながら、事後反省も出来ている。まずは子どもたちの安全確保、人員の確認、保育教諭間の連携を柱にしなが、最終的には、子どもたち全員が自らの命を守るために安全に避難できることを目標に行っていく。	A	A	
	乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われるよう、食事の提供を含む食育計画を作成しその評価及び改善に努めている。	99.2 93.2	A	食育計画に基づいて、望ましい食事の定着を図っている。毎月、給食会議を開き、日々提供される給食やおやつの子どもの反応を伝えられ、管理栄養士と連携して進めている。園だよりの「食のコーナー」で食育に関わる話題は、保護者にも好評である。	A	A	
関係者評価委員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 適宜、見直しもしており、また、変更点の提示もされていると思う。日々の避難訓練により、混乱せずにできていると伺っています。これからも様々な設定をしながら継続してくださるといいと思います。 危機管理こそ、日頃のマニュアル環境の整備が必要と言える。毎月の訓練を計画的に行っており、園全体での取り組みも評価できる。 食育・給食には、温かい感謝の言葉が多数寄せられており、これからも続けていただきたい。 						

子育て支援、保護者との連携	保護者との信頼関係を築き、日常的に子どもの成長を伝え、子育ての相談に応じ「ともに育てる」という思いを高めている。	93.6 91.7	A	子どもの成長した姿を保護者に丁寧に伝え、喜びを分かち合っている姿が見られる。今後も「ともに育てる」意識をもって保護者の子育てを支援することを第一に信頼関係を築いていきたい。	A	A
	本園では、子どもが健やかに育成される場所を提供し、地域の乳幼児、卒園生の教育及び保育の中心的な役割を果たすよう努めている。	98.4 95.9	A	「未就園児教室(エンゼル教室、せいえん広場)」、「子ども会(卒園児対象)」を今年度も予定通り実施できた。園の施設を開放し、保育の様子を見てもらう機会、卒園児が小学生となって成長した姿を保育士も喜びとしながら相互に楽しい時間となることを目指していきたい。	A	A
関係者評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・「子どもたちが園での成長を実感されている。」との保護者からの温かい言葉が多く寄せられており、先生方の努力が報われていると実感する。 ・卒園後に園に遊びに行けること、友だちと幼児の頃に戻った様子を聞いていて、ほっこりしています。引き続きお願いしたい。 ・子どもの様子を話してくださったり、親からの相談などにも「対話」をしてくださったりするので、信頼関係につながっていると思う。卒園後も接する機会があることは、あえなくなった子供たちの交流の場となり、とても良い時間だと思う。 ・いつも、保護者に寄り添う対応を感じています。 				
開かれた園づくり	園だよりやホームページ、参観・懇談などを通して園の情報を広く公開するとともに保護者・地域の声にも耳を傾け、双方向に開かれた園づくりに努めている。	96.8 90.4	A	今年度、ペーパーレス化を進めたことで戸惑いもあった。インスタ、HP等で園の情報提供をさらに進めたことで保護者からの良かったとの声もあった。ブログの更新については、定期的に行い子どもたちの様子を発信することができていた。緊急を要する連絡は、レーザーキッズを活用して保護者の連絡してきたが見ていない方もおり、今後も閲覧を呼びかけていく。今後も個人情報の管理をしながら、双方向に開かれた園づくりを発信していく。	A	A
	小学校訪問・交流などで小学校教育への円滑な接続を図るとともに、商業施設を含めた地域との連携の中で季節を感受する子どもの心を育てている。	95.8 97.4	A	近隣の中央小学校との交流が積極的に行われ、進学に向けての不安解消が図られている。また、近隣の保育園との横の交流も行い、双方向に顔を知り、活動することで進学の楽しみや意欲になったと思われる。保護者の理解と協力もあり、地域のハロウィンパーティーイベントで協力、教会のバザーでブース出店、園児の歌の発表、商業施設ツリー点灯式等、地域と連携した取組にも参加し、園が目指すことものの姿として年長の姿を知ってもらう機会となった。	A	A
	園の評価結果を公開することにより、透明性を図り信頼される園を目指している。	98.3 97.4	A	年度毎の達成率の比較によって、どの項目が上がり、下がっているか、また、全体としてはどうなのかという評価結果を保護者や外部に公表することで透明性を図っている。また、各項目において、改善の見通しをもつことで現状で満足することなく今後の保育の充実を目指していく視点が見える。	A	A
関係者評価委員の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・時代に合わせた対応、先生方の負担の減少、すごく良いと思います。 ・個人情報という難しさを両立されていてとても良いと思います。 ・地域イベントに参加することで園を知る機会にもなり、子どもにとっても安心へつながる面もあると思う。 ・ペーパーレス化は親もなれず見落とすこともあったが慣れていくと思う。 ・前年度はHPの更新が思うようになかったと評価していましたが、今年度はそれを改善され、保護者からも「良い」との評価を得ており、これからはインスタ、HP等を利用し、開かれた園づくりを発信してほしいと思う。 				
関係者評価委員による全体の意見		<ul style="list-style-type: none"> ・職員の皆さん、丁寧に保育をしてくださり、子どもだけでなく親への配慮もされ、園全体が温かい過ごしやすい環境だと思います。 ・一年間ありがとうございました。あまり参加できませんでしたが、園庭の横を通る時など様子を見ることが楽しみでした。常に先生方の細かい心配りに感謝しています。 ・安全面、保育の向上にも努めていると感じています。 ・評価委員は4年になりますが毎年、毎年、その時に合うよう臨機応変に取り組む姿は素晴らしいと思います。 ・全ての項目で「A」評定を達成され、達成状況の点数も全てで90点以上と高い評価となっている。これからはこの水準を維持向上されるよう先生方をはじめ園全体での取り組みを期待します。皆さんの頑張りが地域社会での貢献につながるよう祈っています。 				